

第4学年 せんりつのとくちょうを感じ取ろう

豊田市立伊保小学校 第4学年41名 指導者 教諭 松浦 貴絵

- 1 題材名 せんりつのとくちょうを感じ取ろう～思いをのせて「ゆかいに歩けば」～（全7時間）
教材曲 「つるぎのまい」「白鳥」「陽気な船長」「ゆかいに歩けば」

2 題材の目標

- (1) 旋律の特徴や曲想の変化を感じ取りながら、想像豊かに聴いたり、思いや意図をもって曲想にふさわしい表現の仕方を工夫したりする学習に意欲的に取り組む。 (関心・意欲・態度)
- (2) 旋律の特徴や曲想の変化を生かして、曲想にふさわしい表現で歌い方や演奏の仕方を工夫する。 (音楽表現の創意工夫)
- (3) 呼吸や発音、息の使い方に気をつけて、歌詞の語感や旋律の特徴などを生かしながら、歌ったり演奏したりする。 (音楽表現の技能)
- (4) 旋律の特徴や曲想の変化から感じ取ったことを言葉で表すなどして、楽曲の特徴や演奏のよさを味わって聴く。 (鑑賞の能力)

3 身に付けさせたい力

旋律の特徴による曲想の変化を楽しみ、友達と話し合ったり、演奏し合ったりしながら表現を工夫し、思いを表す力

4 学習指導要領の内容との関連

- (1) 指導事項（歌唱の活動）○印はこの題材での主な指導事項

	ア 範唱を聴いたり、ハ長調の楽譜を見たりして歌うこと。
○	イ 歌詞の内容、曲想にふさわしい表現を工夫し、思いや意図をもって歌うこと。
	ウ 呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌うこと。
	エ 互いの歌声や副次的な旋律、伴奏を聴いて、声を合わせて歌うこと。

- 指導事項（器楽の活動）○印はこの題材での主な指導事項

	ア 範奏を聴いたり、ハ長調の楽譜を見たりして演奏すること。
○	イ 曲想にふさわしい表現を工夫し、思いや意図をもって演奏すること。
	ウ 音色に気を付けて旋律楽器及び打楽器を演奏すること。
	エ 互いの楽器の音や副次的な旋律、伴奏を聴いて、音を合わせて演奏すること。

- 指導事項（鑑賞の活動）○印はこの題材での主な指導事項

	ア 曲想とその変化を感じ取って聴くこと。
	イ 音楽を形づくっている要素のかかわり合いを感じ取り、楽曲の構造に気を付けて聴くこと。
○	ウ 楽曲を聴いて想像したことや感じ取ったことを言葉で表すなどして、楽曲の特徴や演奏のよさに気付くこと。

- (2) 指導する〔共通事項〕の主な内容（空欄の事項はこの題材では指導しない事項）

ア	音色	
(ア)	リズム	「つるぎのまい」の軽快なリズムと「白鳥」のゆったりとしたリズム
	速度	
	旋律	「陽気な船長」と「ゆかいに歩けば」のはずむ旋律となめらかな旋律
	強弱	「ゆかいに歩けば」の曲の山
	音の重なり	
	音階や調	
	拍の流れやフレーズ	
ア	反復	
(イ)	問いと答え	
	変化	
イ	音符、休符、記号や用語	スタッカート、付点8分音符、16分音符

5 題材設定の理由

(1) 児童の実態

年度当初のアンケートで学級の4分の1に当たる10人の子が「音楽が少しきらい」「音楽がきらい」と答えた。歌う様子を見ると、一生懸命に歌う子は多いが、表情が硬く、体で音楽をとらえて歌う子は少ないことがわかった。そこで、進んで音楽とかかわり、思いをもって表現することの楽しさを味わわせたいと考えた。

これまで毎時間、音楽遊びを取り入れて、体で音楽を感じたり、音楽の楽しさを知ったりしてきた。それによって、授業中に笑顔が見られるようになり、「音楽の授業がしたい!」という子が増えてきた。歌唱の学習においては、歌詞や旋律などから様子を思い浮かべたり、どんなふうに歌いたいかという思いをもったりする活動を取り入れてきた。また、思いを表すために、歌い方の工夫を考えて、楽譜に記号や言葉を書き込む活動も行ってきた。初めは、どう言葉で表せばよいか迷ったり、書き込んだ記号と実際の表現が食い違ったりしてしまった。しかし、多くの言葉や記号の掲示が手助けとなり、自分の思いを友達に話したり、書いたりすることができるようになってきた。さらに、考えた工夫がどんな表現になるのかを全員で歌いながら確かめ、どれが一番気持ちに合うかを話し合うことによって、思いと工夫が一致するようになってきた。

子どもたちは、音楽とのかかわり方を学び、その楽しさを少しずつ感じ始めている。本題材では、旋律の特徴による面白さを発見して、「音楽って楽しいな」「音楽が大好き」という子になってほしいと願いをかけた。

(2) 本題材の価値

本題材は、対照的な2つの旋律の特徴を比較したり、表現を変えたりして、音楽の面白さを感じ取ることができるというよさがある。スタッカートとレガートの表現は、明確に区別して表現しやすいため、子どもたちは、その変化を楽しむことができるだろう。また、旋律は音楽に欠かせない大切な要素の一つである。その特徴を感じ取ることによって、さらに音楽の楽しさを発見することができるだろう。

鑑賞の領域においては、「つるぎのまい」と「白鳥」の旋律やリズム、速度、強弱など、音楽を特徴付けている要素に着目して聴き比べる。それによって、旋律の特徴や感じの違い、音楽全体の流れや曲想の違いを感じ取ることができるだろう。

表現の領域においては、まずリコーダーの演奏を通して、旋律の感じの違いを学習する。「陽気な船長」は、跳躍進行を中心としたはずんだ感じから、順次進行を中心とした滑らかな感じに変化するため、その違いをスタッカート奏や息の使い方に気をつけて表現を工夫することができる。息の使い方によって、表現を変化させることを学び、次時の歌唱の学習へつなげたい。歌唱教材の「ゆかみに歩けば」は、前半と後半で旋律の特徴が変わるため、それを生かした歌い方の工夫を考えることができる。旋律の特徴を根拠として、感じの違いを言葉で表現させ、歌声と結び付けていく学習を行うことで、様々な表現を工夫する楽しさを感じることができる。

(3) 評価を生かした指導と教師の支援

本題材では、旋律の特徴を感じ取ることが大きなねらいである。そのためには、スタッカートとレガートを聴き分けることが必要である。その支援として、リボンを使った指揮をする活動を取り入れる。リボンの動きによって、その違いを区別させ、音楽を目に見えるようにしたいと考えた。また、一人一人の動きを見て、特徴を感じ取っているかを教師が評価し、その場で寄り添ってライブ評価していく。

子どもたち一人一人の思いを大切にするためには、拡大した楽譜に意見を書き込んだり、ネームプレートを使って思いを確実に表現させたりしたい。また、話し合いの中で、「どんな音(声)?」「どのような感じで?」と投げ返し、子どもたちの思いはどんな音(声)で表現されるのか、どのような表現ならば思いが伝わるのかを考えさせながら、言葉と表現をつなげていく。

学習の最後には、必ず自己評価をさせて、学びを確認するようにする。その際、子どもたちの思考の流れが、題材の流れと一致するように、随時評価規準を修正しながら学習を進めていきたい。

これらにより、この題材を終えた子どもたちは、旋律の特徴を生かして表現することのおもしろさを知り、楽しく表現することができるようになっていだろう。

6 題材の評価規準

ア 音楽への関心・意欲・態度

旋律の特徴や曲想の変化を感じ取るため、体を動かしながら聴いたり、進んで楽譜を調べたりして、学習に意欲的に取り組んでいる。

イ 音楽表現の創意工夫

旋律の特徴や曲想の変化を生かした表現への思いをもち、速度や強弱、演奏の仕方などを工夫している。

ウ 音楽表現の技能

思いに合った演奏になるように、呼吸や発音、息の使い方に気を付けて、旋律の特徴を生かしながら、歌ったり演奏したりしている。

エ 鑑賞の能力

旋律の特徴に気を付けて曲想の変化を感じ取り、言葉で表すなどして、楽曲の特徴や演奏のよさを味わって聴いている。

時	ねらい	ア 音楽への関心・意欲・態度	イ 音楽表現の創意工夫	ウ 音楽表現の技能	エ 鑑賞の能力
1時	「つるぎのまい」と「白鳥」の旋律を聴き比べ、感じの違いに気付く。	①体を動かすなどして、2つの曲を聴き、進んで感じの違いをみつけている。 【行動観察・発言・ワークシート】			
2時	「つるぎのまい」と「白鳥」の旋律の特徴や感じ取った違い、曲想を言葉で表現して、友達と伝え合い、気付きを深める。				①旋律の特徴を聴き取り、違いや曲想を感じ取っている。 【発言・ワークシート】
3時	「陽気な船長」の旋律の特徴や曲のまとまりを感じ取り、それを生かした演奏を工夫する。	②体を動かすなどして範奏を聴いたり、進んで楽譜から旋律の特徴をみつけようとしていたりしている。 【行動観察・ワークシート】			
4時	「陽気な船長」をどのように演奏したいか思いをもち、速度や音の出し方を工夫する。		①どのような音楽にしたいか思いをもち、速度や、音の出し方を工夫しようとしている。 【発言・ワークシート】		
5時	「ゆかいに歩けば」の旋律の特徴を感じ取る。	③体を動かすなどして範唱を聴いたり、進んで楽譜から旋律の特徴をみつけようとしていたりしている。 【行動観察・ワークシート】			
6時(本時)	「ゆかいに歩けば」をどのように歌いたいのか、思いを話し合ったり、歌い合ったりして、表現を工夫する。		②旋律の特徴から思いをもち、それに合った表現になるように、歌い方を工夫している。 【発言・行動観察・ワークシート】		
7時	「ゆかいに歩けば」を旋律の特徴を生かして、思いに合った表現を工夫して歌う。			①思いに合った表現になるように、表情や声の出し方に気を付けて歌っている。 【演奏聴取】	

7 題材の指導計画 (学習の流れ) …全7時間

曲の感じをとらえて思いをもち、強弱や速度を工夫しながら表現することができるようになってきた子どもたち。まだ、旋律の特徴を生かして表現する楽しさは、知らない子どもたち

児童の思い	教師の支援 ◆評価
<p>「つるぎのまい」と「白鳥」を聴き比べよう 1時</p> <p>「つるぎのまい」は、速くて、激しい感じだね。</p> <p>「白鳥」は、ゆっくりで、なめらかな感じだね。</p>	<p>旋律の特徴を感じ取れるように、リボンを使って指揮をする活動を行う。 ◆ア①</p>
<p>もっとくわしく「つるぎのまい」と「白鳥」を聴こう 2時</p> <p>「つるぎのまい」 音の動き・・・同じ音が続くね リズム・・・激しい感じ 速さ・・・速い 強さ・・・強い</p> <p>「白鳥」 音の動き・・・なめらかだね リズム・・・ゆったり 速さ・・・ゆっくり 強さ・・・弱い</p> <p>色々な感じのせんりつがあるんだね。おもしろいな</p>	<p>2曲の違いを感じ取れるように、リズムや速さ、強さなど、要素を提示して聴き取るようにする。 ◆エ①</p>
<p>「陽気な船長」はどんなせんりつかな。工夫して演奏しよう 3・4時</p> <p>前半は、とびはねるようなせんりつだね。はずむようにふきたいよ。 後半は、同じ音がつづくね。なめらかにつなげてふきたいよ。</p> <p>1曲の中でも、せんりつの感じが変化するね。演奏が楽しいな</p>	<p>旋律の特徴を感じ取れるように、音の動きに着目させ、全てをレガートで演奏するなど、様々なパターンでの演奏を聴かせて比べる活動を取り入れる。 ◆ア②イ①</p>
<p>「ゆかいに歩けば」はどんなせんりつかな 5時</p> <p>前半は、スタッカートがたくさんついているね。四分音符が多いよ。近くの音に進むね。</p> <p>後半は、新しいリズムがあるよ。のびる音が多いね。音がだんだん高くなっていくよ。</p> <p>前半は、はずむ感じでいきおいがあるね。 後半は、つながっていく感じだね。</p>	<p>楽譜から音の動きやリズムの特徴をみつけられるように、楽譜に線を引いたり、音符を図形にしたりして提示する。 ◆ア③</p>
<p>「陽気な船長」みたいに、前半と後半の歌い方を工夫したら楽しいね</p> <p>せんりつのとくちょうを生かして歌おう 6時 (本時)</p> <p>前半は、「ゆかい」など、スタッカートがたくさんついているから、はずむように歌いたいよ。</p> <p>後半は、のびる音が多いから、声が響くように歌いたいよ。</p> <p>おなかを使って切ると、はずむ感じになるね。</p> <p>頭にひびかせて歌おう。息の強さも変えてみよう。</p> <p>歌い方を工夫すると楽しいね。聴いてもらいたいな</p>	<p>旋律の特徴を根拠として、どう歌いたいかを話し合ったり、歌い合ったりして、旋律の特徴を生かした歌い方の工夫ができるようにする。 ◆イ②</p>
<p>とびっきりゆかいな「ゆかいに歩けば」を発表しよう 7時</p> <p>楽しく歌う様子を見てもらってうれしいな</p>	

旋律の特徴を生かして表現することのおもしろさを知り、楽しく表現することができる子どもたち

公開授業指導案

8 本時の展開

(1) 本時のねらい(本時 6/7)

旋律の特徴から思いをもち、それに合った表現になるように、歌い方を工夫する。

(2) 学習の展開

時	学習内容	学習活動	教師の支援 ◆評価
出 合 う 5 分	1 本時の学習課題を知る。	(1) 音楽遊びを行う。 「メロディダンス」 (2) 「ゆかいに歩けば」を歌う。	<ul style="list-style-type: none"> 既習曲「陽気な船長」の旋律を聴き、スタッカートとレガートを区別して体を動かす音楽遊びをすることで、旋律の特徴の違いを体で表現できるようにする。 前時までの一人一人の思いを汲んでおき、自分の思いを表現しようとしている子を見つけたり、励ましたりする。
せんりつのとくちょうを生かして歌おう			
か か わ り 合 う 15 分	2 「ゆかいに歩けば」の旋律の特徴に合った歌い方の工夫がわかる。	(1) 楽譜を見たり、範唱を聴いたりして見つけた旋律の特徴を話し合ったり、歌い合ったりする。 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; margin: 5px 0;">前半は、はずむように歌いたいです。「ゆかい」など、スタッカートがたくさんついているからです。</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; margin: 5px 0;">後半は、声が響くように歌いたいです。理由は、のびる音が多いからです。</div>	<ul style="list-style-type: none"> 自信をもって話せるようにするために、前時までに楽譜に書き込ませ、朱書きを入れておく。 全員の思いをのせるために、拡大楽譜に、一人一人の意見を書き込んだり、ネームプレートを貼ったりする。 言葉と表現を結び付けていくために、実際に歌って表現させる。 歌声を聴き合う活動を取り入れることで、思いが、実際の表現に表れているか確認させる。
もっとゆかいな「ゆかいに歩けば」にしよう			
15 分		(2) さらに、楽しく歌えるように、歌い方を工夫する。 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; margin: 5px 0;">「パルデロホホホホホホ」のところは、笑っているみたいだったよ。</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; margin: 5px 0;">すごく楽しそうで、いきおいよく歌っていたよ。</div>	<ul style="list-style-type: none"> さらに楽しく歌えるように、ドイツ語の範唱を聴かせる。 スタッカートが生きた歌い方ができるように、お腹を使って歌うように助言する。 楽しく歌うために、歩きながら歌うなどの動きを取り入れる。 <p>◆ 旋律の特徴から思いをもち、それに合った表現になるように、歌い方を工夫する。【発言・行動観察・ワークシート】</p>
伝 え 合 う 10 分	3 本時の学びを確かめる。	(1) 全員で、「ゆかいに歩けば」を歌う。 (2) 本時の振り返りをする。	<ul style="list-style-type: none"> 一人一人の声を聴いたり、表情を見たりしながら、「はずんでいるね」「もっと響かせて」などの賞賛や励ましの声をかけていく。(ライブ評価) 満足度を%で表現させ、学びを確かめたり、次時につなげたりする。

公開授業指導案

(3) 学習評価の進め方

- ◆旋律の特徴から思いをもち、それに合った表現になるように、歌い方を工夫する。
- B評価と判断できる児童（話し合いの中の様子や、一人一人の歌声、表情、体の動かし方から見取る）
 - ・旋律の特徴や歌詞に合った歌い方の工夫を考え、思いをもって歌っている。
- A評価と判断できる児童（B評価にプラスして）
 - ・表情や声の出し方に気をつけて、思いに合った表現を工夫している。
- C評価と判断できる児童への対応
 - ・一人一人の声や表情を見取り、個別にアドバイスし、その場で良くなった点を認めながら、意欲を高める。

(4) 板書計画

せんりつのとくちょうを感じ取ろう ～思いをのせて「ゆかいに歩けば」～

音楽遊び

めあて

せんりつのとくちょうを生かして歌おう

メロディダンス

拡大楽譜

「ゆかいに歩けば」

スタッカート

四分音符が多い

長い音が多い

付点のリズム

前半

はずむように
切って
はぎれよく



お腹を使う
拍子にのる

もっとゆかに歌おう！

ドイツ語の曲

- ・すごく楽しそう
- ・軽やかに歩いているみたい
- ⇒歩きながら歌ってみよう

後半

つなげて
なめらかに
ひびくように



だんだんと
高い山をこ
えるように、
声をひびか
せる

- バルデロホホホ～
- 笑っているみたい
- ⇒もっとお腹を動かそう

背面黑板

今日の満足度

100%

80%

50%

30%

ネームプレート